令和６年度住民参画・問題解決型学習推進事業【宮城野区】

「東口ゆうえんち」

榴ケ岡市民センター×宮城野区中央市民センター

１　事業概要

榴岡地区では児童数が多く、子どもたちが安心安全に遊ぶことのできる場が求められています。本事業は、家庭や学校では経験できない遊びを通して、学校や学年の違う子どもたち同士が一堂に楽しみ、子どもたちとボランティアスタッフの異世代交流を行うことで、子どもたちの“人間関係を築く力”を養うことを目指して開催しています。講座として１５年以上の歴史があり、令和３年度から宮城野区中央市民センターと共催で実施しています。

２　令和６年度の活動

高校生から社会人までの企画員が、子どもたちが楽しめる遊びを考えながら企画運営を行っています。令和６年度は１２月までに企画会を９回、イベントを２回開催しました。

● 東口縁日　７月７日（日）　オリジナル通貨「イースト」を使って企画員手作りの遊びや食べ物を楽しむ夏のイベント「東口縁日」を開催しました。「買い物やお金の勉強ができる遊びがあったら嬉しい」という昨年度の保護者アンケートを参考に発案された企画です。遊びや食べ物を何にするかを考えるだけではなく、残った「イースト」で１番楽しかった遊びを最後にもう１度できるという工夫がされており企画員のアイデアがいかされたイベントとなりました。

● 超（スーパー）！めいろランド　１１月２４日（日）　昨年度に引き続き今年度も段ボール迷路のイベントを開催しました。メインとなる、先が見えないほどの大きな段ボール迷路に加えて、トンネル型迷路も用意しました。その他にも新聞紙プールやお絵かきボード、イラスト探しを準備し、より遊園地を思わせる非日常的な空間を全て企画員の手作りで作り上げました。更に今回は事前準備と後片付けに参加していただける親子を募集し一緒に作業をするという新しい企画を考え、実行することができました。

３　成果と課題

令和６年度は新企画「東口縁日」を発案し、更に親子参加型の迷路製作や令和６年度榴ケ岡市民センターまつりへの参加を通して東口ゆうえんちをより地域に広めることができました。また、参加する企画員が固定化していることから、新規企画員の増員や定着をどう広報していくかが課題となっています。

４　今後の展望

２月には恒例の「真冬のおばけやしき」を開催する予定です。企画員の経験とアイデアを活かし、学校や家庭では経験できない遊びの場、学年の違う子どもたち同士や企画員との異世代間交流の場を提供していくことが期待されます。令和７年度も子どもたちに楽しんでもらえる企画を考え、事業を継続していく予定です。